

MakCellの主な仕様

本体

サイズ	W746×D682×H1000(mm)	
重さ	100kg	
電源	AC100V 10A 50/60Hz	
ディスプレイ	6.5インチ液晶タッチパネル	
供給ライン	送液	ペリスタリックポンプ 3台
	培地冷却方式	ペルチェ素子
	ボトル	Corning ストレージボトル 500mL(431532) / 1000mL (431533)
廃液ライン	ノズル	オートクレーブ滅菌対応
	送液	ペリスタリックポンプ 3台
	ボトル	汎用広口ボトル (GL-45)
インキュベータ部	ノズル	オートクレーブ滅菌対応
	清浄方式	庫内循環式HEPAフィルター
	清浄度	ISOクラス5 (クラス100) 相当
	温度制御方式	専用比例制御
	温度表示方式	デジタル表示式 (表示精度 0.1℃)
	加熱方式	エアージャケット方式
	CO ₂ 濃度表示方式	デジタル表示式 (表示精度 0.1%)
	加湿方式/湿度	水トレイによる自然蒸発方式/90%RH以上
	テーブル仕様	上下2段同期回転テーブル
		<収納枚数> 最大24枚 ※マルチウェルプレートは最大12枚取付可能
	<対応容器> ・Φ60mmディッシュ/Φ100mmディッシュ ・6-wellプレート/12-wellプレート/ 24-wellプレート	

消耗品 培地チューブセット

●500mL/1000mL ボトル供給用チューブセット	
セット内容	供給用チューブ (ディスポーザブル) 15本: 電子線滅菌済 GL-45 培地供給ボトルキャップ (オレンジ) 3個: 未滅菌 ※ご使用の際はオートクレーブなどで滅菌ください。
型式	MC-DT-500/MC-DT-1000
推奨交換頻度	培養終了毎

●500mL/1000mL ボトル供給用チューブセット (低吸着)	
セット内容	供給用チューブ (低吸着・ディスポーザブル) 15本: 電子線滅菌済 GL-45 培地供給ボトルキャップ (オレンジ) 3個: 未滅菌 ※ご使用の際はオートクレーブなどで滅菌ください。
型式	MC-DT-CF-500/MC-DT-CF-1000
推奨交換頻度	培養終了毎

●廃液用チューブセット	
セット内容	廃液用チューブ (ディスポーザブル) 15本: 電子線滅菌済 GL-45 廃液ボトルキャップ (ブルー) 3個: 未滅菌 ※ご使用の際はオートクレーブなどで滅菌ください。
型式	MC-ST
推奨交換頻度	培養終了毎

消耗品 その他

●培地供給ボトルキャップ用エアーventフィルター	
販売数量	15個単位
型式	MC-FL

●HEPAフィルター	
販売数量	1個単位
型式	MC-HF
推奨交換頻度	年に1回 ※定期点検 (オプション) 時に交換

初回付属品

・制御用ノートPC	1式
・培地ボトル	1個
・廃液ボトル	1個
・専用金属ノズル (シリコンキャップ付) [型式: MC-NZ]	6個
・供給用ペリスタリックポンプ (オレンジ)	3個
・廃液用ペリスタリックポンプ (ブルー)	3個
・供給用チューブセット [型式: MC-DT-500/MC-DT-1000*] ※購入時選択	1式
・廃液用チューブセット [型式: MC-ST]	1式
・培地供給ボトルキャップ用エアーventフィルター	1個
・保冷部専用 500mLボトル用スペーサー	3個
・保冷部専用カバー	3個
・廃液ボトルラック	1個
・加湿用金属トレイ	1個
・電源ケーブル (2m)	1本
・LANケーブル (2m)	1本

卓上型自動培養装置

MakCell

快適な環境下で培地交換を自動化

～ 培地交換は、マカセルにおまかせ～



株式会社ジェイテックコーポレーション

〒567-0086 大阪府茨木市彩都やまぶき2-5-38
E-mail: info@j-tec.co.jp

お問い合わせは (営業直通)

072-655-2786

受付時間: 土、日、祝日及び当社指定定休日を
除く、9時～17時30分

販売代理店



■その他記載されている会社名、製品名、商品名は各社の商標または登録商標です。■製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また、商品の色調は印刷のために実物と異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

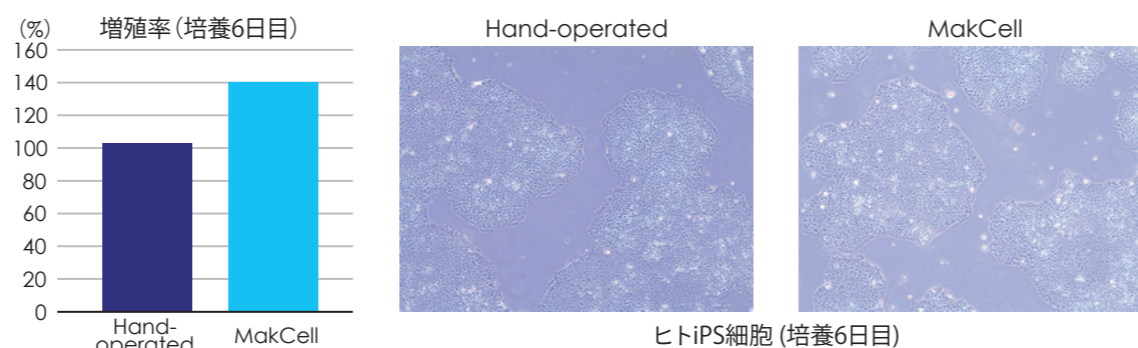
細胞培養をマカセル新しいパートナー
卓上型自動培養装置

MakCell

Compact Automatic Cell Culture Apparatus

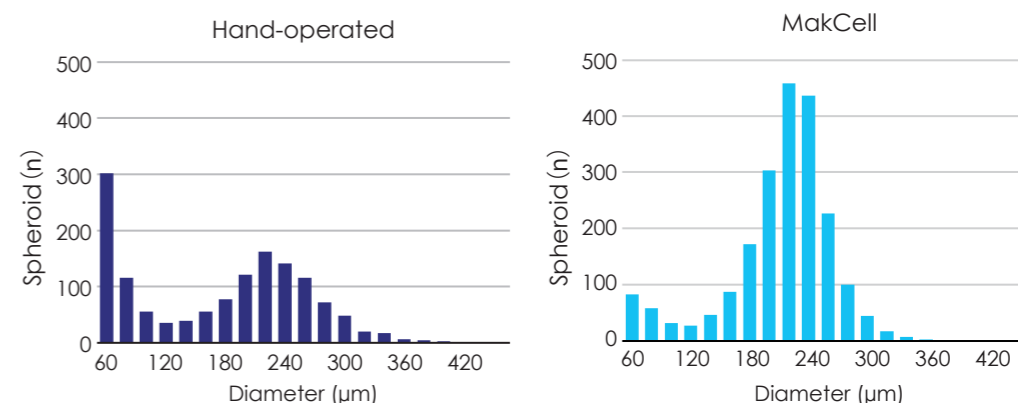
培養評価

播種からコンフルエントまで MakCell を使っても、一般的な手での操作と同等の培養結果が得られた



ディンプルプレートの培地交換

慎重な操作が必要なディンプルプレートの培養も MakCell を使うと、サイズのそろったスフェロイドが得られた



マカセルの特徴

1 インキュベーター HEPAフィルター搭載

- CO₂インキュベーター内で自動培地交換

CO₂濃度や温度、湿度などの環境変化による細胞へのストレスを軽減

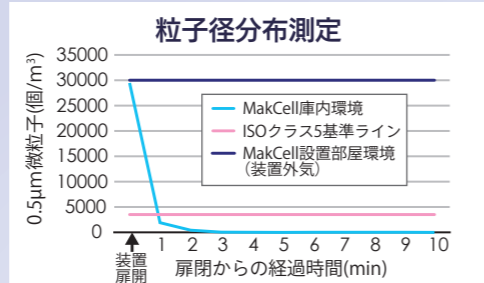
培地交換時の培養容器移動(振動)による細胞へのダメージ軽減(ディンプルプレートについても適用可能)

- コンタミネーションに配慮した設計

HEPAフィルター付庫内循環により「ISOクラス5」相当の清浄度環境下

培地交換後に接種した廃液ノズルを洗浄することで、清潔をキープ

※培地供給ノズル及び廃液ノズルは、次回チューブ交換まで同じものを使用

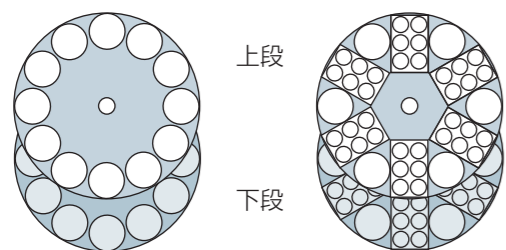


- 「ディッシュ」「マルチウェルプレート」両方使用可能

多種の培養容器を同時に運用

- ディッシュ: Φ60mm/Φ100mm
- ウェルプレート: 6-well/12-well/24-well

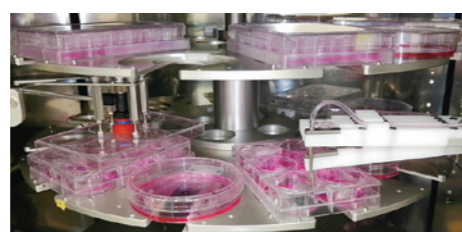
配置イメージ



ディッシュのみ
最大24枚
12枚×2段

ディッシュ・プレート混載
最大24枚
各6枚×2段

庫内収納イメージ



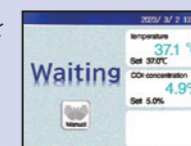
▲ 6-wellプレート廃液中

▶ 培地交換動画



2 タッチパネル

庫内の温度やCO₂濃度を大きく表示



マニュアル操作はタッチパネルで実行

※培養スケジュールはPCで設定

3 培地3種類同時搭載可能 (保冷機能付き)



同時に3種類の培地をセットでき、培地の異なる培養もこの1台で可能

装置上部には保冷部を搭載しており、いつでも新鮮な培地を供給

角型培地保存ボトル(PET製)最大3本収納可能

標準
Corning ストレージボトル 500mL/1000mL

オプション
Corning ストレージボトル250mL 対応可能

Point 培地不足防止対策 /

お知らせランプ点滅機能付き (保冷部通電時はランプ点灯)

- 500mLボトル 100mLラインで点滅
- 1000mLボトル 200mLラインで点滅

Point ボトルを30°傾けた状態で収納

- ボトルの取出しが簡単
- 培地の吸い残しが少ない

4 培地廃液ボトル



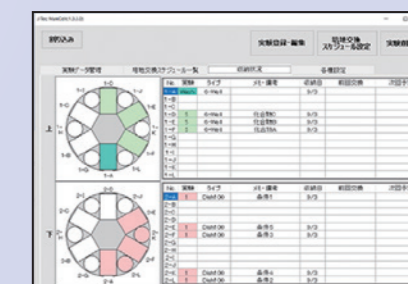
広口メジュームびん(1L)最大3本収納可能

Point 目線の高さで廃液量が確認しやすく交換忘れを防止

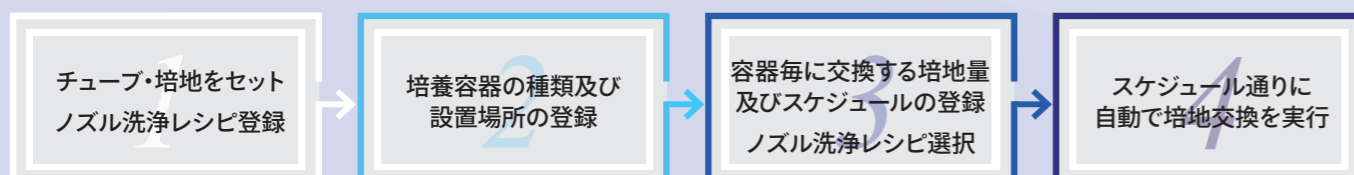
5 PCでの簡単な操作で 培養スケジュール管理可能

最大50の培養が登録可能

1日と1週間の実行予定スケジュールを一覧で確認可能



Work Flow



Option

メール通知機能

培地交換開始/終了/エラー時

- 休日や勤務時間外でも稼働状況が把握でき安心
- 設定で通知項目を選択可能

低酸素雰囲気下での培地交換可能

- 大気(酸素濃度21%)にさらすことなく、低酸素をキープした環境で培地交換
- 酸素濃度条件をコントロールすることで、細胞の特性評価に貢献

クリーンブース

- コンタミネーションリスクを大幅に低減
- 作業性の向上